

EU



1 農・畜産業の概況

2020年のEUの農用地面積は、全加盟国（27カ国）の国土全体の約4割となる1億5667万ヘクタール、農業経営体数は1028万戸、1戸当たり農用地面積は15.2ヘクタールとなった（表1）。英国が2020年1月31日にEUから離脱したことで、加盟国は27カ国となり、面積、経営体数が減少し、1戸当たりの農用地面積も前年比9.6%減となった。

20年の農業生産額は、3989億4590万ユーロで

あった。このうち、約4割に相当する1589億6644万ユーロを畜産が占めて、EU農業の主要部門となっている（図1）。畜産の内訳を見ると、生乳が543億3493ユーロ（農業全体の13.6%）、牛肉が279億6648万ユーロ（同7.0%）、豚肉が388億1562万ユーロ（同9.7%）、卵・家きんが284億3584万ユーロ（同7.1%）となっている。

表1 主要農業経済指標

| 国名／区分 | 農用地面積 | 農業労働人口 | 農業経営体数 | 1戸当たり農用地面積 | 農業生産額 |
|---------|-----------|---------|----------|------------|-----------|
| | (千ヘクタール) | (千人) | (千戸) | (ヘクタール) | (百万ユーロ) |
| | 2016年 | 2019年 | 2016年 | 2016年 | 2020年 |
| ベルギー | 1,354.3 | 55.6 | 36.9 | 36.7 | 8,928.2 |
| ブルガリア | 4,468.5 | 190.4 | 202.7 | 22.0 | 3,917.6 |
| チェコ | 3,455.4 | 102.0 | 26.5 | 130.2 | 5,440.5 |
| デンマーク | 2,614.6 | 53.7 | 35.1 | 74.6 | 11,473.2 |
| ドイツ | 16,715.3 | 465.0 | 276.1 | 60.5 | 56,622.5 |
| エストニア | 995.1 | 18.9 | 16.7 | 59.6 | 962.6 |
| アイルランド | 4,883.7 | 160.7 | 137.6 | 35.5 | 8,908.3 |
| ギリシャ | 4,553.8 | 416.9 | 685.0 | 6.6 | 10,969.8 |
| スペイン | 23,229.8 | 854.7 | 945.0 | 24.6 | 51,158.9 |
| フランス | 27,814.2 | 726.1 | 456.5 | 60.9 | 73,866.5 |
| クロアチア | 1,563.0 | 176.4 | 134.5 | 11.6 | 2,361.4 |
| イタリア | 12,598.2 | 1,103.0 | 1,145.7 | 11.0 | 52,261.5 |
| キプロス | 111.9 | 21.4 | 34.9 | 3.2 | 737.6 |
| ラトビア | 1,930.9 | 70.0 | 69.9 | 27.6 | 1,546.0 |
| リトアニア | 2,924.6 | 134.6 | 150.3 | 19.5 | 3,140.0 |
| ルクセンブルク | 130.7 | 3.3 | 2.0 | 66.3 | 404.4 |
| ハンガリー | 4,670.6 | 358.9 | 430.0 | 10.9 | 8,267.0 |
| マルタ | 11.1 | 5.0 | 9.2 | 1.2 | 113.8 |
| オランダ | 1,796.3 | 156.4 | 55.7 | 32.3 | 27,382.4 |
| オーストリア | 2,669.8 | 116.2 | 132.5 | 20.1 | 7,197.4 |
| ポーランド | 14,405.7 | 1,675.8 | 1,410.7 | 10.2 | 26,316.7 |
| ポルトガル | 3,641.7 | 234.4 | 259.0 | 14.1 | 8,043.2 |
| ルーマニア | 12,502.5 | 1,402.0 | 3,422.0 | 3.7 | 15,341.4 |
| スロベニア | 488.4 | 77.3 | 69.9 | 7.0 | 1,356.4 |
| スロバキア | 1,889.8 | 44.5 | 25.7 | 73.6 | 2,209.6 |
| フィンランド | 2,233.1 | 61.6 | 49.7 | 44.9 | 3,992.3 |
| スウェーデン | 3,012.6 | 54.8 | 62.9 | 47.9 | 6,026.8 |
| EU27カ国 | 156,665.3 | 8,739.7 | 10,282.7 | 15.2 | 398,945.9 |

資料：欧州委員会「Eurostat」

注1：EU27カ国の農用地面積、農業経営体数は、各国の数値の合計。

注2：1戸当たり農用地面積は、農用地面積および農業経営体数から算出。

注3：農業労働人口は、年単位で直接雇用された農業労働者の人口。

注4：農業労働人口の合計は英国を除く27カ国計。

ている。

イ 民間在庫補助（調整保管）

2014年以降の新たなCAPでは、バター、脱脂粉乳およびチーズを対象に、大幅な価格の下落など欧州委員会が必要と認めた場合、一定量を一定期間、在庫として保管する業者に対し、保管経費の補助を行うことが検討される。

14～17年で民間在庫補助の対象となった脱脂粉乳数量は、約18万4000トンとなった。また、バターは、約30万6000トンとなった。さらに、20年はCOVID-19対策として、3年ぶりに民間在庫補助が実施され、脱脂粉乳1万8300トン、バター6万5000トン、チーズ4万3700トンが隔離された。

ウ 生乳生産割当（クォータ）制度

EUは、1984年以降、国ごとに生乳生産量の枠（クォータ）を割り当て、クォータを超過した場合、一定額の課徴金を課すとともに、加盟国内の農家間での売買などを認める生産割当（クォータ）制度を実施してきた。同制度は、2008年11月に合意した「ヘルスチェック」（CAPの中間検証作業）に基づき、15年3月末で廃止され、生産者は需給に応じて生産できることとなった。

エ 輸出補助金

CAPの下で、例外的に輸出補助金の使用が認められているものの、2010年以降は、すべての乳製品で輸出補助金の発動はない。

オ 域内消費の促進

乳製品に関連した補助として、牛乳やチーズなどの学校給食用消費などに対する補助が行われている。

② 生乳の生産動向

ア 酪農経営体数

EUの酪農経営体数は、景気の低迷や大規模化などを背景として小規模層を中心に減少傾向にあり、2013年は前回調査（2010年）から15%減少となる148万戸となった（表2）。なお、14年以降調査は行われていない。

表2 酪農経営体数、乳用経産牛飼養頭数および1戸当たり飼養頭数の推移

（単位：千戸、千頭、頭/戸、%）

| 区分/年 | 2013 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 増減率 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 酪農経営体数 | 1463.4 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 経産牛飼養頭数 | 21,652 | 21,638 | 21,652 | 21,634 | 21,409 | 21,029 | 20,766 | 20,514 | ▲ 1.2 |
| 1戸当たり経産牛飼養頭数 | 14.8 | - | - | - | - | - | - | - | - |

資料：欧州委員会「Eurostat」

注1：経産牛飼養頭数は、各年12月末現在のもの。

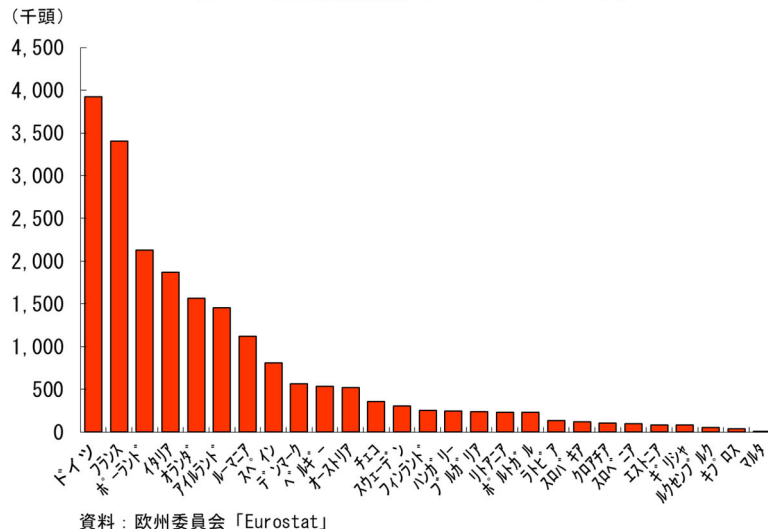
注2：酪農経営体数は、2014年以降公表されていない。

イ 飼養頭数

経産牛飼養頭数は、2015年以降、環境規制への対応として減少傾向にあり、20年は前年比1.2%減の2051万頭となった。

国別で見ると、頭数の多い順に、ドイツ392万頭、フランス341万頭、ポーランド213万頭、イタリア187万頭、オランダ157万頭、アイルランド146万頭となり、これら6カ国でEU全体の約7割を占める（図2）。

図2 乳牛飼養頭数（2020年12月）



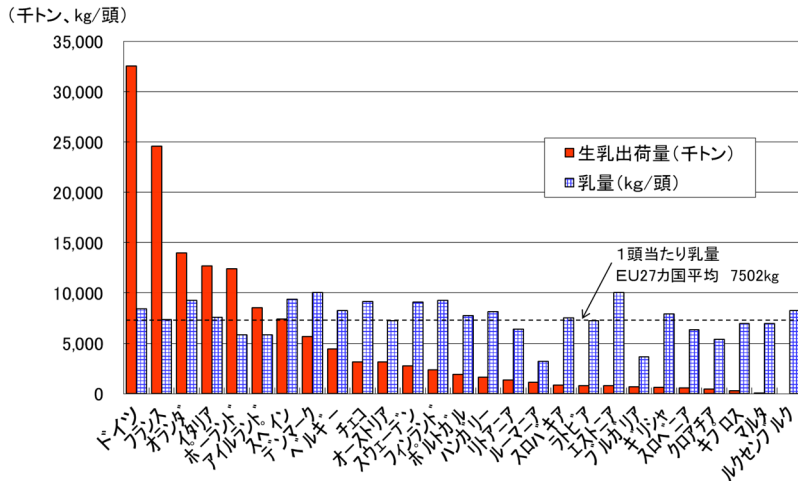
ウ 経産牛1頭当たり乳量

2020年の経産牛1頭当たり乳量は、7502キログラムとなった。ただし、第1位のエストニアの1万63キログラム、第2位のデンマークの1万28キログラムに対し、下位にある東欧圏のブルガリア、ルーマニアはそれぞれ3000キログラム台となっており、加盟国間での差は大きい（図3）。

エ 生乳出荷量

2020年の生乳出荷量は、1億4527万トンとなった。国別では、出荷量の多い順に、ドイツ3255万トン、フランス2458万トン、オランダ1399万トン、イタリア1267万トン、ポーランド1243万トン、アイルランド855万トンとなり、これら6カ国でEU全体の生産量の約7割を占める（図3）。

図3 生乳出荷量および経産牛1頭当たり乳量(2019年)



資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2022」

③ 牛乳・乳製品の需給動向

ア 飲用乳

2020年の飲用乳(乳飲料、ヨーグルトなどを含む。以下同じ)生産量(販売量)は2380万トンで、1人当たり飲用乳消費量は平均51.1キログラムとなった(表3)。

イ バター

EUのバター生産量(バターオイルを含む)は、世界の生産量の約2割を占める。

2020年のバター生産量は、226万トンとなった(表4)。主な生産国は、ドイツとフランスであり、2カ国でEU全体の約4割を占めている(図4)。

バター価格は、COVID-19の影響により20年3~5月にかけて下落したものの、その後の需要の増加により年末には感染拡大前まで回復した。

20年のEU域外輸出量は、31万トンとなった。EUから離脱した英国への輸出が最も多く、米国、UAE、中国と続く。

表3 1人当たり年間飲用乳消費量の推移

(単位：kg/人、%)

| 国/年 | 2016 | 17 | 18 | 19 | 20 | 増減率 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ベルギー | 46.3 | 46.9 | 45.3 | 43.5 | 47.9 | 10.1 |
| ブルガリア | 17.8 | 17.7 | 17.3 | 17.4 | - | - |
| チェコ | 60.0 | 61.1 | 59.4 | 58.8 | 57.6 | ▲ 2.0 |
| デンマーク | 86.7 | 83.6 | 81.8 | 79.9 | 80.2 | 0.4 |
| ドイツ | 52.6 | 52.2 | 51.4 | 49.5 | 50.0 | 1.0 |
| ギリシャ | 45.4 | 45.6 | 46.2 | 47.2 | - | - |
| エストニア | 97.8 | 103.6 | 121.2 | 121.2 | - | - |
| スペイン | 78.4 | 78.7 | 78.9 | 70.1 | 76.5 | 9.1 |
| フランス | 49.6 | 47.5 | 45.6 | 40.1 | 40.4 | 0.7 |
| アイルランド | 115.6 | 116.6 | 114.7 | 112.5 | 109.6 | ▲ 2.6 |
| イタリア | 47.7 | 46.5 | 45.9 | 38.4 | 38.3 | ▲ 0.3 |
| クロアチア | 72.7 | 71.6 | 72.1 | 74.2 | - | - |
| ラトビア | 44.2 | 45.0 | 42.0 | 43.6 | 44.3 | 1.6 |
| リトアニア | 37.0 | 36.3 | 40.9 | 38.3 | 43.7 | 14.1 |
| ハンガリー | 53.0 | 54.1 | 52.2 | 53.2 | 56.7 | 6.6 |
| オランダ | 49.0 | 42.2 | 41.5 | 39.7 | 41.8 | 5.3 |
| オーストリア | 75.0 | 76.0 | 76.0 | 74.4 | 75.1 | 0.9 |
| ポーランド | 39.3 | 40.0 | 40.9 | 49.9 | 52.4 | 5.0 |
| ポルトガル | 67.1 | 66.8 | 69.8 | 62.7 | - | - |
| ルーマニア | 15.9 | 16.7 | 17.1 | 18.2 | - | - |
| スロバキア | 46.3 | 46.3 | 46.0 | 45.4 | 50.0 | 10.1 |
| フィンランド | 120.1 | 114.2 | 109.1 | 103.6 | 99.6 | ▲ 3.9 |
| スウェーデン | 81.7 | 76.7 | 76.0 | 70.1 | 69.4 | ▲ 1.0 |
| 英国 | 101.2 | 104.7 | 102.2 | 95.9 | 94.8 | ▲ 1.1 |
| EU27/28カ国 | 59.3 | 59.2 | 57.8 | 55.6 | 51.1 | - |

資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2021」

注1：2020年は暫定値。

注2：2019年までは英国を含む28カ国、20年は英国を除く27カ国。

表4 バター需給の推移

(単位：千トン、%)

| 区分/年 | 2017 | 18 | 19 | 20 | 増減率 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 生産量 | 2,315 | 2,340 | 2,410 | 2,256 | - |
| うち乳業工場 | 2,297 | 2,320 | 2,390 | 2,235 | - |
| 農家 | 18 | 20 | 20 | 21 | - |
| 輸入量 | 15 | 20 | 14 | 48 | - |
| 輸出量 | 171 | 158 | 215 | 312 | - |
| 在庫量(12月末) | 106 | 120 | 105 | 135 | - |
| 域内消費量 | 2,168 | 2,188 | 2,224 | 1,992 | - |

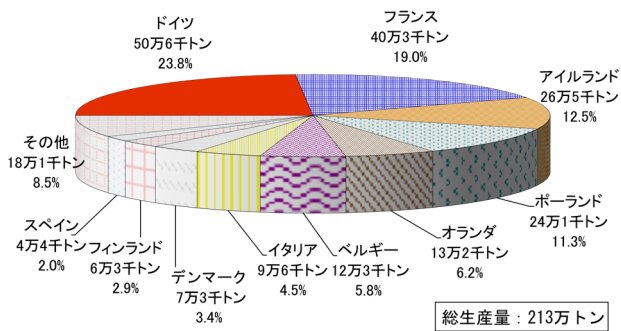
資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2022」

注1：生産量にはバターオイルを含む。

注2：2020年は暫定値。

注3：2019年までは英国を含む28カ国、20年は英国を除く27カ国。

図4 バターの国別生産量(2020年)



資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2021」

注：EU27カ国。

20年のバター消費量は、199万トンとなり(表4)、1人当たり消費量は、4.5キログラムとなった(表5)。国別では、フランス(7.9キログラム)、デンマーク(7.0キログラム)、ドイツ(6.3キログラム)での消費が多い。一方、オリーブ油など植物油脂の消費が多いイタリア(2.3キログラム)などは少ない。

表5 1人当たりバター消費量の推移

(単位：kg/人/年、%)

| 国/年 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 増減率 |
|------------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------|
| ベルギー | 2.3 | 2.2 | 2.1 | 2.1 | 2.4 | 14.3 |
| ブルガリア | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.1 | - | - |
| チェコ | 5.4 | 5.0 | 5.1 | 5.4 | 5.7 | 5.6 |
| デンマーク | 6.3 | 6.2 | 6.7 | 6.9 | 7.0 | 1.4 |
| ドイツ | 6.1 | 6.0 | 5.9 | 5.8 | 6.3 | 8.6 |
| ギリシャ | 0.9 | 0.9 | 0.9 | 1.0 | - | - |
| エストニア | 2.7 | 2.7 | 3.3 | 3.3 | 3.3 | 0.0 |
| スペイン | 0.4 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 0.5 | 66.7 |
| フランス | 8.2 | 8.0 | 8.3 | 8.2 | 7.9 | ▲3.7 |
| アイルランド | 2.4 | 2.4 | 2.4 | 2.4 | 2.4 | 0.0 |
| イタリア | 2.6 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.3 | ▲8.0 |
| クロアチア | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.6 | - | - |
| ラトビア | 2.9 | 2.8 | 3.0 | 3.5 | 3.7 | 5.7 |
| リトアニア | 3.8 | 4.1 | 4.1 | 4.9 | 5.9 | 20.4 |
| ハンガリー | 2.2 | 2.5 | 2.4 | 2.4 | 2.6 | 8.3 |
| オランダ | 4.5 | 4.0 | 5.2 | 2.8 | 1.9 | ▲32.1 |
| オーストリア | 5.3 | 5.4 | 5.5 | 5.6 | 5.3 | ▲5.4 |
| ポーランド | 4.6 | 4.4 | 4.6 | 5.2 | 5.3 | 1.9 |
| ポルトガル | 1.8 | 2.1 | 2.2 | 2.1 | - | - |
| ルーマニア | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 1.2 | - | - |
| スロバキア | 3.9 | 3.7 | 3.4 | 3.1 | 4.0 | 29.0 |
| フィンランド | 3.3 | 3.4 | 3.5 | 3.3 | 3.2 | ▲3.0 |
| スウェーデン | 2.5 | 2.8 | 2.8 | 2.9 | 3.0 | 3.4 |
| 英国 | 2.7 | 3.0 | 2.6 | 3.0 | 3.0 | 0.0 |
| EU27/28カ国 | 4.2 | 4.2 | 4.3 | 4.3 | 4.5 | |

資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2022」

注1：2020年は暫定値。

注2：2019年までは英国を含む28カ国、20年は英国を除く27カ国。

ウ 脱脂粉乳

EUの脱脂粉乳生産量は、世界の生産量の約3割を占める。

2020年の脱脂粉乳生産量は、162万トンとなった(表6)。主な生産国は、ドイツとフランスであり、2カ国で約5割を生産する(図5)。また、域内の消費量は83万トンであった。

脱脂粉乳については、低迷した需給の改善を目的に15年7月~17年9月に行われた公的介入買い入れにより、介入在庫が17年末に約38万トンまで積み上がった。その後、介入在庫は16年12月から売り渡しが始まり、19年6月には介入在庫はすべて解消された。

脱脂粉乳価格については、COVID-19の影響により20年3~5月にかけては下落し、その後若干の回復をみせた後、横ばいで推移した。価格が比較的安価で安定したことで、国際競争力を有したため、EU域外輸出量は83万トンと堅調に推移した。主な輸出先は、中国、アルジェリア、インドネシア、エジプト、ナイジェリアなどとなった。

表6 脱脂粉乳需給の推移

(単位：千トン、%)

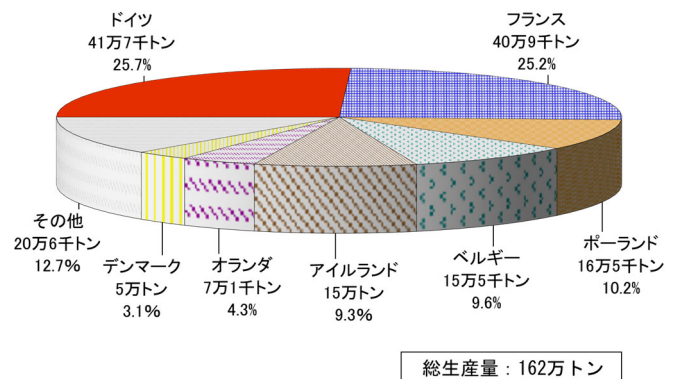
| 区分/年 | 2017 | 18 | 19 | 20 | 増減率 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 生産量 | 1,681 | 1,670 | 1,666 | 1,623 | - |
| 輸入量 | 2 | 3 | 6 | 36 | - |
| 輸出量 | 780 | 816 | 962 | 831 | - |
| 介入在庫量(12月末) | 378 | 175 | 0 | 0 | - |
| 域内消費量 | 949 | 994 | 934 | 828 | - |

資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2022」

注1：2020年は暫定値。

注2：2019年までは英国を含む28カ国、20年は英国を除く27カ国。

図5 脱脂粉乳の国別生産量(2020年)



資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2022」

注：EU27カ国。

エ チーズ

EUのチーズ生産量は、世界の生産量の約5割を占める。

2020年のチーズ生産量は、EU域内外の需要が強
く、1027万トンとなった（表7）。主な生産国は、
ドイツとフランスであり、2カ国でEU全体の約4割を
生産する（図6）。

表7 チーズ需給の推移

（単位：千トン、%）

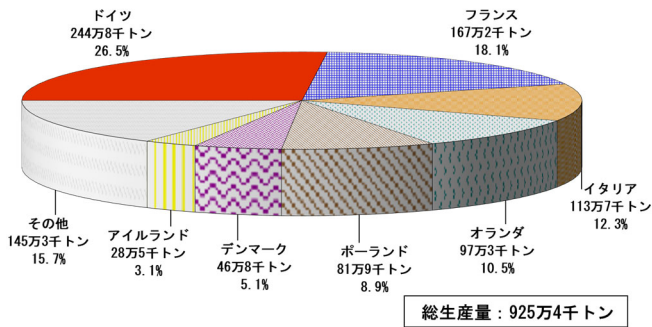
| 区分/年 | 2017 | 18 | 19 | 20 | 増減率 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|-----|
| 生産量 | 10,456 | 10,574 | 10,589 | 10,269 | - |
| うち乳業工場(生乳原料) | 9,464 | 9,556 | 9,568 | 9,254 | - |
| 農家(生乳原料) | 105 | 105 | 105 | 105 | - |
| その他(生乳原料) | 887 | 913 | 916 | 910 | - |
| 輸出入量 | 60 | 59 | 63 | 223 | - |
| 輸出量 | 830 | 836 | 882 | 1,405 | - |
| 域内消費量 | 10,038 | 10,153 | 10,129 | 9,453 | - |
| 1人当たり消費量(kg) | 19.6 | 19.8 | 19.7 | 21.1 | - |

資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2022」

注1：2020年は暫定値。

注2：2019年までは英国を含む28カ国、20年は
英国を除く27カ国。

図6 チーズの国別生産量（2020年）



資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2022」

注1：EU27カ国。

注2：生産量のうち乳業工場生産分。

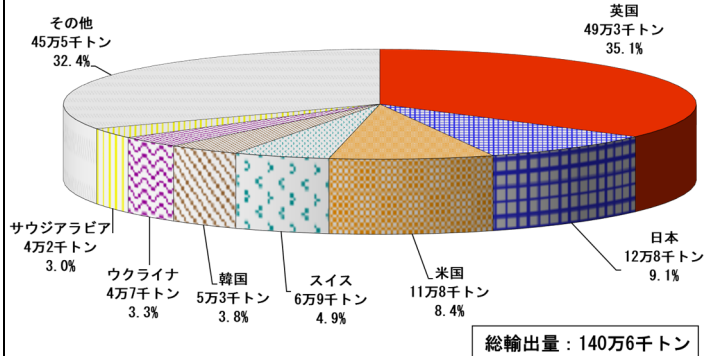
20年のEU域外輸出量は、140万トンとなった。

主な輸出先は、輸出量の多い順に、英国（49.3万ト
ン）、日本（12.8万トン）、米国（11.8万トン）、
スイス（6.9万トン）となっている（図7）。米国との
航空機に対する補助金をめぐる貿易摩擦の影響で同国
向けが前年をかなりの程度下回る一方、日本向けは19
年2月に発効された日EU経済連携協定の効果もあり、
輸出量は前年をかなり大きく上回り、英国に次ぐ第2位
の輸出先となった。

チーズの消費量は増加傾向にあり、20年は945万
トン、1人当たりでは21.1キログラムと20キログ
ラムを超えた。しかし、加盟国間でかなりの差があり、
フランス（27.4キログラム）、オランダ（26.0キ

ログラム）などで多い一方、アイルランド（6.8キロ
グラム）、スペイン（9.0キログラム）などでは少ない
（表8）。

図7 チーズの輸出先（2020年）



資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2022」

注：EU27カ国。

表8 1人当たりチーズ消費量の推移

（単位：kg/人/年、%）

| 国/年 | 2016 | 17 | 18 | 19 | 20 | 増減率 |
|---------|------|------|------|------|------|------|
| ベルギー | 15.0 | 14.6 | 14.2 | 14.0 | 15.5 | 10.7 |
| ブルガリア | 15.7 | 15.5 | 16.0 | 16.6 | - | - |
| チェコ | 17.6 | 17.8 | 17.8 | 18.5 | 19.1 | 3.2 |
| ドイツ | 25.0 | 23.9 | 24.4 | 25.1 | 25.3 | 0.8 |
| ギリシャ | 24.3 | 25.7 | 26.9 | 24.2 | - | - |
| エストニア | 25.2 | 24.4 | 25.0 | 25.4 | 24.7 | ▲2.8 |
| スペイン | 7.5 | 7.5 | 7.6 | 7.6 | 9.0 | 18.4 |
| フランス | 26.6 | 26.5 | 26.5 | 27.2 | 27.4 | 0.7 |
| アイルランド | 6.8 | 6.8 | 6.8 | 6.8 | 6.8 | 0.0 |
| イタリア | 21.5 | 22.3 | 23.3 | 21.7 | 21.7 | 0.0 |
| クロアチア | 12.8 | 13.0 | 13.4 | 14.4 | - | - |
| ラトビア | 19.1 | 20.8 | 20.8 | 21.1 | 21.8 | 3.3 |
| リトアニア | 17.5 | 20.6 | 20.8 | 22.5 | 23.3 | 3.6 |
| ハンガリー | 13.3 | 13.5 | 13.3 | 13.4 | 14.1 | 5.2 |
| オランダ | 21.7 | 22.0 | 24.3 | 25.2 | 26.0 | 3.2 |
| オーストリア | 23.0 | 22.3 | 22.8 | 23.3 | 23.9 | 2.6 |
| ポーランド | 18.6 | 18.9 | 19.1 | 20.4 | 19.7 | ▲3.4 |
| ポルトガル | 11.3 | 12.0 | 12.8 | 13.3 | - | - |
| ルーマニア | 7.1 | 7.7 | 8.5 | 8.6 | - | - |
| スロベニア | 14.9 | 15.3 | 15.6 | 16.1 | - | - |
| スロバキア | 14.0 | 13.5 | 13.3 | 14.6 | 14.4 | ▲1.4 |
| フィンランド | 26.8 | 25.9 | 25.7 | 25.6 | 25.4 | ▲0.8 |
| スウェーデン | 20.6 | 19.2 | 19.4 | 19.6 | 20.2 | 3.1 |
| 英国 | 11.6 | 11.7 | 12.0 | 11.9 | 11.7 | ▲1.7 |
| EU27/28 | 19.0 | 19.6 | 19.8 | 19.7 | 21.1 | - |

資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2022」

注：2020年は暫定値。

④ 生乳および牛乳・乳製品の価格動向

ア 生乳生産者価格

生乳生産者価格は、2013年末をピークに需給が緩み
下落した。しかし、17年以降は堅調に推移し、20年は
前年比0.2%安の100キログラム当たり32.8ユー
ーロとわずかに下落した（表9）。

表9 生乳生産者価格の推移

(単位：ユーロ/100kg、%)

| 国/年 | 2016 | 17 | 18 | 19 | 20 | 変動率 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ベルギー | 26.70 | 35.05 | 32.19 | 33.05 | 31.30 | ▲ 5.3 |
| ブルガリア | 27.05 | 30.41 | 29.94 | 30.42 | 31.56 | ▲ 3.7 |
| チェコ | 23.97 | 31.46 | 32.32 | 33.39 | 31.27 | ▲ 6.3 |
| デンマーク | 28.83 | 36.90 | 35.96 | 34.18 | 34.82 | ▲ 1.9 |
| ドイツ | 26.73 | 36.19 | 34.37 | 33.70 | 32.84 | ▲ 2.6 |
| エストニア | 23.66 | 32.67 | 30.72 | 31.00 | 29.33 | ▲ 5.4 |
| ギリシャ | 38.65 | 38.79 | 39.62 | 38.37 | 38.65 | ▲ 0.7 |
| スペイン | 29.12 | 30.96 | 31.23 | 31.85 | 32.21 | ▲ 1.1 |
| フランス | 28.52 | 32.42 | 32.81 | 34.06 | 33.73 | ▲ 1.0 |
| アイルランド | 25.20 | 33.62 | 31.56 | 29.83 | 30.02 | ▲ 0.6 |
| イタリア | 33.58 | 37.40 | 36.23 | 39.39 | 36.02 | ▲ 8.6 |
| クロアチア | 25.75 | 34.08 | 33.82 | 31.12 | 32.70 | ▲ 5.1 |
| キプロス | 56.00 | 55.88 | 55.97 | 57.63 | 57.86 | ▲ 0.4 |
| ラトビア | 21.41 | 30.58 | 28.33 | 29.32 | 28.09 | ▲ 4.2 |
| リトアニア | 18.07 | 25.22 | 24.01 | 24.15 | 24.00 | ▲ 0.6 |
| ハンガリー | 23.56 | 30.26 | 29.53 | 30.53 | 29.45 | ▲ 3.5 |
| オランダ | 28.40 | 35.50 | 33.60 | 33.26 | 31.36 | ▲ 5.7 |
| オーストリア | 29.77 | 35.98 | 35.41 | 35.34 | 35.96 | ▲ 1.8 |
| ポーランド | 24.65 | 31.67 | 30.60 | 30.54 | 30.15 | ▲ 1.3 |
| ポルトガル | 28.02 | 29.68 | 30.75 | 30.65 | 30.27 | ▲ 1.2 |
| ルーマニア | 24.85 | 26.63 | 26.36 | 27.48 | 28.17 | ▲ 2.5 |
| スロベニア | 25.28 | 30.32 | 30.30 | 32.62 | 31.40 | ▲ 3.7 |
| スロバキア | 24.96 | 30.68 | 31.53 | 32.11 | 32.02 | ▲ 0.3 |
| フィンランド | 37.08 | 37.72 | 37.92 | 38.33 | 38.81 | ▲ 1.3 |
| スウェーデン | 30.70 | 37.94 | 34.64 | 34.82 | 35.31 | ▲ 1.4 |
| 英国 | 26.74 | 31.80 | 32.13 | 31.93 | 31.17 | ▲ 2.4 |
| EU27/28カ国 | 27.75 | 34.15 | 33.25 | 33.45 | 32.80 | - |

資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2022」

注：3.7%脂肪分のもの。ただし、ドイツは4.0%脂肪分のもの。

イ 飲用乳小売価格

EU最大の生乳出荷国であるドイツを見ると、全脂乳（乳脂肪3.5%以上）の小売価格は、1リットル当たり1.17ユーロ（前年比2.6%高）であった（表10）。

表10 ドイツの飲用生乳小売価格の推移

(単位：ユーロ/リットル、%)

| 区分/年 | 2016 | 17 | 18 | 19 | 20 | 変動率 |
|----------------------|------|------|------|------|------|-----|
| 全脂乳 (乳脂肪1.6%~) | 0.62 | 0.75 | 0.80 | 0.80 | 0.84 | 5.0 |
| 全脂乳 (乳脂肪3.5%以上) | 1.05 | 1.09 | 1.11 | 1.14 | 1.17 | 2.6 |
| UHT牛乳 (乳脂肪1.5%以下) | 0.56 | 0.68 | 0.70 | 0.70 | 0.75 | 7.1 |

資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2018~2022」

ウ バター卸売価格

2020年のバター卸売価格（工場または倉庫渡し）は、COVID-19の影響を受け、3~5月にかけて大きく下落した。その後需要の回復により、価格は上昇したものの、同期間の下落分を補えず、主要国で前年を下回った（表11）。

表11 主要国のバター卸売価格の推移

(単位：ユーロ/kg、%)

| 国/年 | 2016 | 17 | 18 | 19 | 20 | 変動率 |
|------|------|------|------|------|------|--------|
| フランス | 3.33 | 5.26 | 5.13 | 3.93 | 3.31 | ▲ 15.8 |
| ドイツ | 3.34 | 5.27 | 5.14 | 3.91 | 3.35 | ▲ 14.3 |
| オランダ | 3.26 | 5.22 | 4.99 | 3.81 | 3.26 | ▲ 14.4 |
| イタリア | 3.24 | 5.19 | 5.02 | 3.86 | 3.35 | ▲ 13.2 |
| ベルギー | 3.28 | 5.23 | 5.05 | 3.85 | 3.32 | ▲ 13.8 |

資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2022」

注：工場または倉庫渡しの価格で付加価値税は含まない。

エ 脱脂粉乳卸売価格

2020年の脱脂粉乳卸売価格（工場渡し）は、バター同様に3~5月にかけて下落したが、その後やや回復の後横ばいに推移したことで、主要国で前年を上回った（表12）。

表12 主要国の脱脂粉乳卸売価格の推移

(単位：ユーロ/kg、%)

| 国/年 | 2016 | 17 | 18 | 19 | 20 | 変動率 |
|------|------|------|------|------|------|-----|
| ドイツ | 1.64 | 1.66 | 1.31 | 1.95 | 2.07 | 6.2 |
| フランス | 1.82 | 1.75 | 1.52 | 2.16 | 2.22 | 2.8 |
| オランダ | 1.80 | 1.75 | 1.49 | 2.14 | 2.20 | 2.8 |
| ベルギー | 1.84 | 1.78 | 1.53 | 2.17 | 2.26 | 4.1 |

資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2022」

注：工場渡しの価格で付加価値税は含まない。

オ チーズ卸売価格

2020年のチーズ卸売価格（工場渡し）は、国・区分ごとに異なるが、ドイツ以外の主要国は、前年を下回った（表13）。

表13 主要国のチーズ卸売価格の推移

(単位：ユーロ/kg、%)

| 国・区分/年 | 2016 | 17 | 18 | 19 | 20 | 変動率 |
|------------------|------|------|------|------|------|-------|
| ドイツ エメンタール45% | 5.47 | 5.75 | 5.72 | 5.88 | 5.95 | 1.2 |
| ベルギー チェダー | 2.83 | 3.47 | 3.25 | 3.25 | 3.12 | ▲ 4.0 |
| イタリア グラナ・パダーノ | 7.53 | 7.82 | 7.20 | 8.50 | 8.28 | ▲ 2.6 |
| ポーランド エメンタール | 3.20 | 3.75 | 3.46 | 3.54 | 3.51 | ▲ 0.8 |

資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2022」

注：工場渡しの価格で付加価値税は含まない。

(2) 肉牛・牛肉産業

2020年のEU（加盟27カ国）の牛肉生産量は、世界の生産量の約1割を占めている。

EUは気候・地理などに応じて、多種多様な品種の牛（肉用種、乳用種、乳肉兼用種）が飼養されており、牛肉の生産構造や牛肉に供する牛（子牛、経産牛、去勢牛、雄牛など）は、国によってかなり異なっている。EUの

牛肉自給率は、01年には103%であったが、同年のBSE問題の再燃などにより生産量が減少傾向となり、03年以降は牛肉の純輸入地域となった。その後も13年にアイルランドで発覚した牛肉加工製品への馬肉混入事件の影響などによる消費者離れなどがあつたが、BSE対策の徹底などによる輸出量の増加などから、自給率は100%を超えて推移している（表14）。

20年の牛肉生産量は、飼料価格の高止まりによる収益性の低下を背景に18年をピークとした牛群縮小傾向が継続していることに加え、COVID-19の影響による価格低迷などから、前年比0.9%減となった。

表14 牛肉需給の推移

(単位：千トン、%)

| 区分/年 | 2016 | 17 | 18 | 19 | 20 | 増減率 |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 生産量 | 6,939 | 6,951 | 7,067 | 6,964 | 6,903 | ▲0.9 |
| 輸入量 | 351 | 348 | 371 | 387 | 306 | ▲20.8 |
| 輸出量 | 585 | 613 | 595 | 577 | 593 | 2.8 |
| 消費量 | 6,705 | 6,686 | 6,843 | 6,774 | 6,617 | ▲2.3 |
| 1人当たり消費量(kg) | 10.5 | 10.5 | 10.7 | 10.6 | 10.4 | ▲2.4 |
| 自給率(%) | 106.9 | 107.6 | 106.8 | 106.2 | 107.8 | 1.5ポイント |

資料：欧州委員会「EU agricultural markets short-term outlook - autumn 2022」

注1：枝肉換算ベース。1人当たり消費量は純食料ベース。

注2：輸入量および輸出量は生体牛を除く。

注3：自給率は、と畜牛の枝肉生産量から枝肉換算した生体牛の輸出入量を差し引きして算出した生産量と、消費量から算定。

注4：EU27カ国

① 主な政策

ア 公的介入買い入れ

2014年以降の新たなCAPでは、一加盟国または一加盟国の一部地域の市場のR3(肉付きおよび脂肪量ともに中位に格付け)雄牛の枝肉平均価格が、1トン当たり1890ユーロ(枝肉参考価格の85%)の介入価格を下回った場合、公的介入買い入れが検討される。なお、これまで、公的介入買い入れが行われたことはない。

イ 民間在庫補助(調整保管)

EUでは、R3の枝肉参考価格を1トン当たり2224ユーロと定め、EU平均市場価格が参考価格を下回り、それが継続する可能性がある場合、一定量を一定期間、在庫として保管する業者に対し、保管経費の補助を行うことが検討される。2020年は、COVID-19対策として、牛肉に対し民間在庫補助が実施され、外食産業の営業規制により特に需要が低下したヒレやサーロインを含む月齢8カ月以上の後四分体(生鮮または冷蔵)を対象に発動した。

ウ 直接支払い

2003年のCAP改革により、生産にリンクした直接支払いは、原則廃止されたが、加盟国レベルで、生産維持を目的に生産とリンクした直接支払いを実施することは可能となっている。

エ 輸出補助金

CAPの下で、例外的に輸出補助金の使用が認められているものの、近年、牛肉での輸出補助金の発動はない。

オ BSE関連対策

動物性たんぱく質の飼料利用の禁止、食肉に供される牛からの特定危険部位の除去などのBSE対策などが実施されている。講じられる対策の有効性を検証するため、BSEモニタリング検査などが実施されている。

② 肉牛の生産動向

ア 牛飼養経営体数

EUの牛飼養経営体数(乳用種を含む)は、大規模化などを背景として小規模層を中心に減少傾向にあり、2013年は前回調査(2010年)から13%減少となる220万戸となった(表15)。なお、14年以降調査は行われていない。

牛飼養経営体数は、2013年のEUの全農業経営体数(1084万戸)の約2割を占めていることから、農業経営体の約5分の1は何らかの形で牛を飼養することになる。国別では、ルーマニア(64万戸)、ポーランド(42万戸)、フランス(18万戸)、ドイツ(13万戸)、アイルランド(11万戸)、イタリア(11万戸)が多い。

表15 牛(乳用種を含む)飼養経営体数、飼養頭数および1戸当たりの飼養頭数の推移

(単位：千戸、千頭、頭/戸、%)

| 区分/年 | 2013 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 増減率 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------|
| 牛飼養経営体数 | 2,195 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 飼養頭数 | 78,019 | 78,690 | 79,303 | 79,698 | 79,010 | 77,840 | 77,161 | 76,499 | ▲1.7 |
| 1戸当たり飼養頭数 | 35.5 | - | - | - | - | - | - | - | - |

資料：欧州委員会「Eurostat」

注1：飼養頭数は、12月末時点のもの。

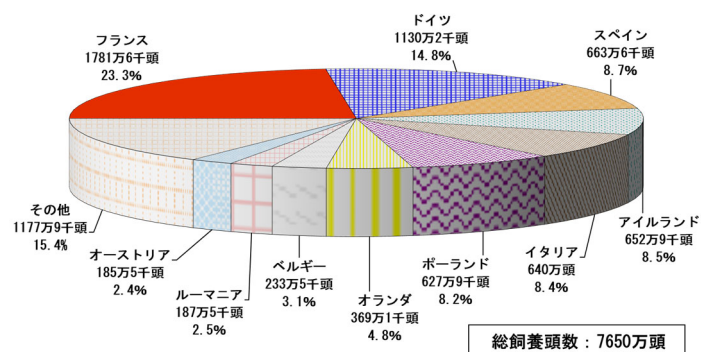
注2：牛飼養経営体数は、2014年以降公表されていない。

イ 飼養頭数

2020年12月時点の牛飼養頭数(乳用種を含む)は、前年比1.7%減の7650万頭であった(表15)。飼養頭数第1位はフランス(1782万頭)、2位はドイツ(1130万頭)であり、この2カ国でEU全体の約4割を占める。前年まで飼養頭数第3位であった英国の離脱により、第3位はスペイン(664万頭)となったが4位以下アイルランド、イタリア、ポーランドとは僅差である(図8)。

種類別の牛飼養割合などは、加盟国間で違いがある(図9)。

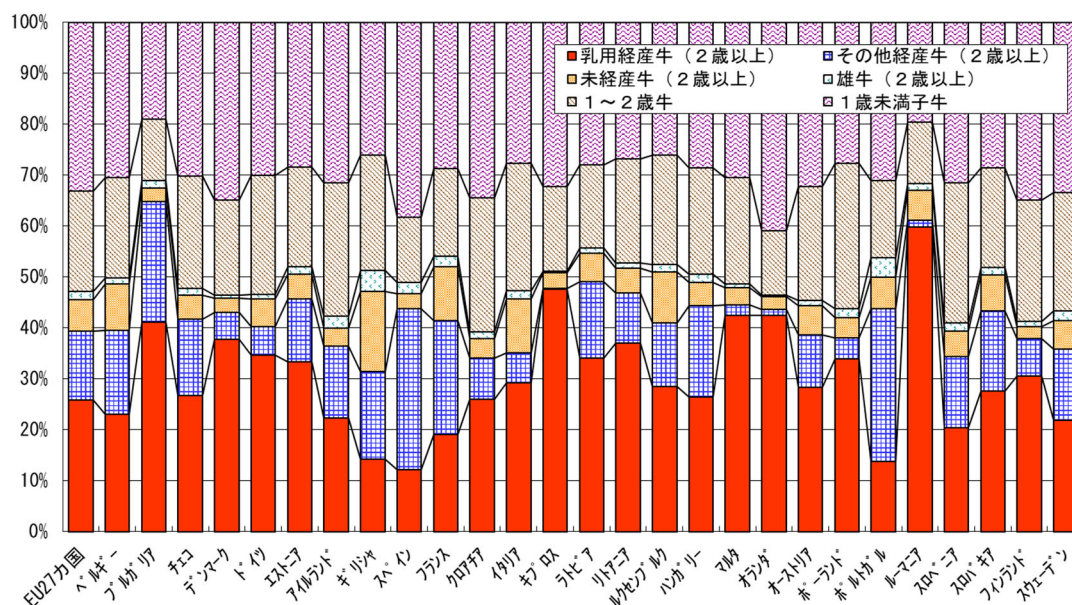
図8 国別牛飼養頭数(2020年12月)



資料：欧州委員会「Eurostat」

注：EU27カ国。

図9 国別種類別牛飼養割合(2020年12月)



資料：欧州委員会「Eurostat」

③ 牛肉の需給動向

ア 牛肉生産量

COVID-19の影響によりの2020年前半の牛肉生産量はやや減少した。その後、外食産業の回復などが見られたものの、飼料価格の高止まりから飼養頭数は減少傾向で推移したため、20年の牛肉生産量は690万トン(前年比0.9%減)(枝肉換算)となった(表14)。

イ 輸入および輸出

輸入では、ガット・ウルグアイラウンド合意に基づき、さまざまな関税割当や近隣国との特惠制度が設けられている。2020年のEU域外からの輸入量は、外食需要

の落ち込みから、前年比20.8%減の31万トン(枝肉換算)となった(表14)。主な輸入先は、ブラジル、アルゼンチンなどである。

輸出は、01年のBSE問題や02年の口蹄疫の発生により、一時的にEU産牛肉の禁輸措置が講じられたことで長年にわたり減少傾向で推移してきた。また、14年に、最大の輸出先であったロシアによる禁輸措置が講じられたことで伸び悩んでいたが、近年は、アジアや中東、北アフリカなどへの輸出が増えた。なお、20年はEUを離脱した英国への輸出が最も多く、前年比2.8%増の59万トンとなった。

ウ 消費

2020年の消費量は、COVID-19の影響により需要・供給共に低下したことから前年比2.3%減の662万トンと減少した。1人当たり年間消費量も同様の傾向となり、20年は同2.4%減の10.4キログラムとなった(表14)。

④ 肉牛・牛肉の価格動向

2020年の牛枝肉卸売価格は、COVID-19の影響により3~5月にかけて急落したが、その後の需要の回復により価格は上昇し、年間では100キログラム当たり雄牛では354.6ユーロ、去勢牛で366.7ユーロとなった(表16)。

表16 牛枝肉卸売価格の推移

(単位：ユーロ/100kg、%)

| 年/区分 | 牛枝肉卸売価格 | | | |
|------|---------|-------|-------|--------|
| | 雄牛 | | 去勢牛 | |
| | 価格 | 変動率 | 価格 | 変動率 |
| 2016 | 364.5 | ▲ 2.2 | 398.6 | ▲ 10.8 |
| 17 | 376.4 | 3.3 | 402.9 | 1.1 |
| 18 | 376.5 | 0.0 | 402.2 | ▲ 0.2 |
| 19 | 362.6 | ▲ 3.7 | 377.4 | ▲ 6.1 |
| 20 | 354.6 | - | 366.7 | - |

資料：欧州委員会「Meat market observatory」

注：2019年まではEU27カ国+英国、2020年からは英国を除くEU27カ国。

(3) 養豚・豚肉産業

2020年のEU(加盟27カ国)の豚肉生産量は、世界の生産量の約2割を占めている。

EUの豚肉自給率は120%を超えて推移しており、純輸出地域である。中でも、わが国の冷凍豚肉の主要な輸入先であるスペインは、EU全体の輸出量の約3割を占める。EUでは、加盟国間で差があるものの、全体的に見ると食肉消費量に占める豚肉の割合は牛肉、鶏肉、羊肉の中で最も大きい。

EUの豚肉生産は、07年、12年の飼料価格の高騰などの影響を受け、増産と減産を繰り返している。11年および12年は、13年のアニマルウェルフェアに関する規制の完全施行に対応するため、一時的に生産は減少したが、14年以降は、生産性向上が図られたことで、増加傾向となっている。規制内容は、具体的には、妊娠豚のストール飼いの禁止や繁殖母豚の飼養面積の拡張の

ために豚舎の増改築などの対応を必要とするものである。これにより、対応できない小規模農家では経営を中止したり、繁殖、肥育の分業化、統廃合などが行われたりするなど、業界全体で生産構造の変化の動きが活発になった。

① 主要な政策

ア 民間在庫補助(調整保管)

EUでは、標準的な豚(クラスEまたはR)の枝肉参考価格を1トン当たり1509.39ユーロと定め、EU平均市場価格が参考価格を下回り、それが継続する可能性がある場合、一定量を一定期間、在庫として保管する業者に対し、保管経費の補助を行うことが検討される。

2015年3月には、前年2月のロシアによるEU産農畜産物の禁輸措置に伴い需給が緩和したことから、民間在庫補助が実施され、約6万トンの豚肉が市場から隔離された。また、16年1月には、ロシアによる禁輸措置の影響などから約9万トンの豚肉が隔離された。なお、20年は実施されていない。

イ 輸出補助金

CAPの下で、例外的に輸出補助金の使用が認められているものの、2008年以降は、輸出補助金の発動はない。

② 肉豚の生産動向

ア 養豚経営体数

EUの養豚経営体数は、飼料価格の高騰、アニマルウェルフェアの規制強化などさまざまな要因を背景として小規模層を中心に減少し、大規模化や繁殖・肥育の分業化が進む傾向にある。2013年は、前回調査(10年)から24%減少となる218万戸となった。なお、14年以降の調査は実施されていない(表17)。

養豚経営体数は、13年のEUの全農業経営体数(1084万戸)の約2割を占めていることから、全農業経営体の約5分の1は何らかの形で豚を飼養していることになる。養豚経営体数は、ルーマニア(128万戸)が圧倒的に多く、次いでポーランド(28万戸)、ハンガリー(13万戸)、クロアチア(8万戸)、リトアニア(6万戸)、スペイン(5万戸)となっている。小規模農家が中心となっている国で養豚経営体数が多い。

表 17 養豚経営体数、飼養頭数および1戸当たり飼養頭数の推移

| 区分/年 | 2013 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 増減率 |
|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----|
| 養豚経営体数 | 2,181 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 飼養頭数 | 141,859 | 143,821 | 144,324 | 142,650 | 145,544 | 143,519 | 143,146 | 145,877 | 1.9 |
| 1戸当たり飼養頭数 | 66.7 | - | - | - | - | - | - | - | - |

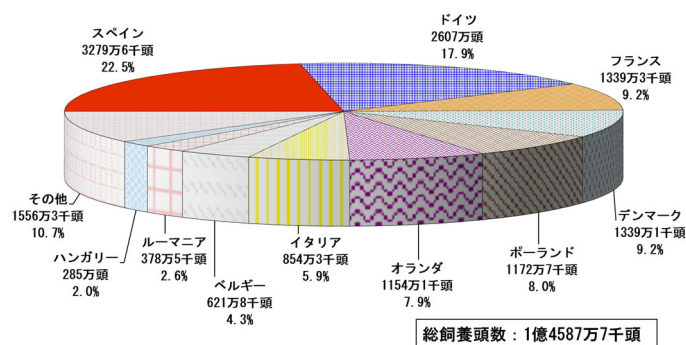
資料：欧州委員会「Eurostat」
 注1：飼養頭数は、12月末時点のもの。
 注2：養豚経営体数は、2014年以降公表されていない。

イ 飼養頭数

2020年12月時点の豚飼養頭数は、1億4588万頭となった（表17）。

飼養頭数は、EU全土に分布しているものの加盟国間で大きな差があり、スペイン、ドイツ、フランス、デンマーク、ポーランド、オランダ、イタリアの7カ国で全体の約8割を占めている（図10）。スペインとドイツの上位2カ国で総飼養頭数の約4割を占めるものの、首位のスペインは8年連続で増加傾向である一方で、2位のドイツは減少傾向で推移している。

図10 国別豚飼養頭数（2020年12月）



資料：欧州委員会「Eurostat」
 注：EU27カ国。

③ 豚肉の需給動向

ア 豚肉生産量

2020年の豚肉生産量は、輸出需要が強かったことから前年比1.0%増の2322万トン（枝肉換算）となった（表18）。主要生産国別に見ると、スペイン、オランダ、デンマークで増産となった一方、ドイツ、ポーランド、イタリアでは減産となった。

表 18 豚肉需給の推移

| 区分/年 | 2016 | 17 | 18 | 19 | 20 | 増減率 |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 生産量 | 22,947 | 22,758 | 23,156 | 22,996 | 23,220 | 1.0 |
| 輸入量 | 152 | 154 | 167 | 162 | 159 | ▲1.9 |
| 輸出量 | 3,695 | 3,498 | 3,580 | 4,177 | 4,943 | ▲18.3 |
| 消費量 | 19,404 | 19,414 | 19,743 | 18,981 | 18,436 | ▲2.9 |
| 1人当たり消費量 (kg) | 34.0 | 34.0 | 34.5 | 33.1 | 32.2 | ▲3.0 |
| 自給率 (%) | 118.5 | 117.4 | 117.5 | 121.4 | 126.1 | 3.9ポイント |

資料：欧州委員会「EU agricultural markets short-term outlook - autumn 2021」
 注1：枝肉換算ベース。1人当たり消費量は純食料ベース。
 注2：生産量は加工などに伴う損耗を考慮した数値。
 注3：自給率は、と畜豚の枝肉生産量から枝肉換算した生体豚の輸出入量を差し引きして算出した生産量と、消費量から算定。
 注4：EU27カ国。

イ 輸入および輸出

EU域外への輸出量（枝肉換算）は、中国でのアフリカ豚熱の発生により同国からの需要が増加したことから、2019年の輸出量は前年比16.7%増の418万トンとなった。20年の輸出量は、EU域内の処理場の従業員のCOVID-19感染確認により中国への輸出が一時停止になることなどがあったものの、同国からの需要は引き続き強く、前年比18.3%増の494万トンとなった（表18）。主な輸出先は、中国、英国、日本、香港などであり、中国のみで全体の6割を超えた。また、主な輸出国は最大のスペイン、次いでドイツ、デンマークとなり、これら上位3カ国で輸出量の7割を超える。しかし、20年9月にドイツで野生イノシシからアフリカ豚熱が確認されたことで、中国をはじめとした輸出先はドイツからの豚肉の輸入を停止した。そのため、ドイツからのEU域外への輸出量は減少し、スペインからの輸出量はさらに増加した。

なお、20年のEU域外からの輸入量（枝肉換算）は、16万トン（同1.9%減）で、主な輸入先は英国である。

ウ 消費

2020年の消費量は、前年比2.9%減の1844万トンとなった。

1人当たり消費量は、輸出需要の高まりによりEU域内の豚枝肉卸売価格が上昇したことにより19年から減少し始め、20年は同3.0%減の32.2キログラムとなった。

④ 豚肉の価格動向（豚肉の市場価格）

豚枝肉卸売価格は、加盟国の代表的な市場の加重平均価格をベースとして算出される。

2020年の枝肉卸売価格は、100キログラム当たり160.1ユーロとなった（表19）。COVID-19の影響により20年3～5月に同価格は下落したが、その後需要の回復により下げ止まった。しかし、9月にドイツで野生イノシシからアフリカ豚熱の発生が確認されると、再び下落に転じた。

表19 豚枝肉卸売価格の推移

（単位：ユーロ/100kg、%）

| 年/区分 | 豚枝肉卸売価格 | | | | | |
|------|---------|--------|-------|--------|-------|--------|
| | EU | | ドイツ | | デンマーク | |
| | 価格 | 変動率 | 価格 | 変動率 | 価格 | 変動率 |
| 2015 | 139.6 | ▲ 10.8 | 142.6 | ▲ 10.0 | 130.1 | ▲ 10.9 |
| 16 | 146.0 | 4.6 | 151.8 | 6.5 | 136.8 | 5.1 |
| 17 | 160.7 | 10.1 | 165.9 | 9.3 | 148.7 | 8.7 |
| 18 | 142.0 | ▲ 11.6 | 146.0 | ▲ 12.0 | 128.0 | ▲ 13.9 |
| 19 | 169.1 | 19.0 | 177.5 | 21.6 | 164.4 | 28.4 |
| 20 | 160.1 | - | 162.7 | ▲ 8.4 | 172.6 | 5.0 |

資料：欧州委員会「Meat Market Observatory」

注：2019年まではEU27カ国+英国、2020年からは英国を除くEU27カ国。